

【グループディスカッションでの主なご意見等】

＜マイ・タイムラインについての感想＞

- ・今回の会議で、自分の家の状況に応じて避難計画を作らなければいけないと認識した。

＜マイ・タイムラインを作成することの重要性の周知方法等について＞

- ・この会議に、商工会議所、老人クラブ、消防団、農業委員さんなど様々な団体の代表が出席されているので、それぞれの地域や団体に戻ったら、会議など機会あるごとに、「マイ・タイムライン」を作成することの重要性を周知していただきたい。
- ・例えば老人会や各団体とか、いろんな会合の時に、平日頃から必ず話題に入れることが大切である。
- ・高齢者世帯のマップを作成して避難計画の重要性を教えてあげる。
- ・事前勉強会を行ったり、防災士や班長を活用して周知する。
- ・周知方法としては、自治会での回覧や配付を行うことがいいと思うが、回覧等は見えていないことがある。
- ・日常的に家族と話をすることが大事である。



＜その他の意見＞

- ・パソコンやスマートフォンでも情報を得ようと思えばいくらでも得られるが、高齢者など扱えない方は事前にどういう状態になっているかなど、わかりにくい。
- ・高齢者を1軒1軒回って、「避難を考えてますか」、「どこ行くか考えてますか」と聞いても、「いやもう私はここでいいんだ」というような感じである。やっぱり一人一人、自助がものすごく大切だと思う。そういう人にその意識を持たせる方策を検討する必要がある。
- ・私の地域では、水門を閉めたとの情報が入って間もなく内水が上がってしまう。その時逃げようとしても道路が冠水してしまっている。いかに地域に合った情報を伝達するか。
- ・令和2年9月の台風10号の時に、お年寄りのところに行ったが、「昭和18年の台風のときは2階まで浸からなかった。あれ以上に大きい水害はない。」と言うので、「想定外が起きることがあるでしょ。」と言って歩いたが、避難していない。昭和18年は大変大きな水害だった。その水害の経験が活かされていない。
- ・指定避難所を市が開設するが、コロナ禍の中で本当に避難所に避難することが可能なのか。その問題をもう少し市と地域の住民とすり合わせとかなければ、避難計画自体が絵にかいたモチになる。
- ・（雨水排水ポンプについて、排水先の河川の状況により運転を一時停止することがあるが、住民の多数はそのような運転停止をすることを知らず、）排水ポンプがあるから大丈夫と思っている人が多く、心配である。
- ・散歩の途中に子どもたちと一緒に、側溝など避難ルートの危険箇所を確認することもできるのでは。

鶴崎地域まちづくりビジョン 概要

鶴崎地域の将来像（コンセプト）【みんなが住みたくなる伝統と文化のある街】

提言1：鶴崎の伝統・文化を「まもり」「つなげる」「いかす」

鶴崎地域にしかない伝統と文化を守り、次の世代へつなげ、観光資源などに生かす取組を行うことで地域の活性化を図るべきです。

提言2：豊かな川の恵みをつめなおす

鶴崎地域を流れる一級河川である大野川と乙津川の恵みを生かした取組を行うことで特色ある街づくりを行うべきです。

提言3：鶴崎駅や鶴崎市民行政センター周辺を核とした街のにぎわいづくり

鶴崎駅を起点とした鶴崎地域の南北を結ぶ交通網の整備や地域コミュニティ機能、防災機能を充実させるために公民館を整備するなど、住民生活の利便性を向上させ、さらに地域外から人が集まる街を作ることで鶴崎地域全体の活性化を図るべきです。

提言4：将来住みたくなる街づくりに向けた取組を推進

鶴崎地域の未来を担う子どもたちが将来もこの鶴崎に住みたくなるような街を作るために、教育環境の充実や地域の防災力を強化する取組などを行うべきです。

提言番号	事業番号	事業名	内容
提言1	1	豊かな歴史と伝統文化の継承	・「鶴崎踊」「三佐の山車」「けんか祭り」などの伝統や文化を継承する ・伝統文化継承の拠点となる鶴崎公民館を整備する ・地域の子どもが伝統文化とふれあう取組を行う
	2	史実の顕彰による観光連携の強化	・歴史を活かした観光交流の推進を行う(鶴崎にゆかりのある偉人と関係する地域との観光協定など) ・新たな観光施設を整備する
	3	地域イベントの拡大事業	・外部から新たに地域イベントをプロデュースできる方を招いて地域イベント(お祭りなど)を活性化させる
	4	鶴崎地域の農業の振興	・地域の名産品であるニラ、水耕セリ、ミツバ、大葉の生産振興につなげる
提言2	5	大野川、乙津川の河川敷を利用したスポーツ施設整備とマラソン大会の実施	・スポーツで鶴崎を盛り上げ、地域の活性化へつなげる(乙津川の河川敷沿いにマラソンコースを作りアスリートの方に利用してもらい、大野川でボート競技の練習ができるようにする、一流選手と地域住民との交流を行うなど)
	6	川を活かしたまちづくり事業	・豊かな川がもたらす水の恩恵を子どもたちの郷土愛をはぐくむ教育へと生かす(大野川の歴史を継承する資料館の整備など) ・大野川沿いの幹線道路を整備する(戸次→高田→鶴崎) ・川がもたらす資源を守り、育んで有効活用する
	7	防災と豊かな川を活かした街づくり	・水辺の楽校を活用し、学習施設と避難施設を兼ねた防災複合施設を整備する
提言3	8	鶴崎駅周辺の整備	・鶴崎駅周辺のバスの利便性を向上させる ・地域を循環するバス路線があればまちの活性化につながる ・鶴崎駅周辺にカフェやレストランができればにぎやかになる
	9	鶴崎市民行政センター周辺の整備	・防災機能を持った総合コミュニティセンターとして、鶴崎公民館を整備する(エスペランサ・コレジオ、老人いこいの家、防災対策など) ・公民館の機能充実、利用者の利便性の確保を図るための鶴崎公園の整備
提言4	10	地域全体の防災力の強化	・地域のインフラを強化して防災面を強化する ・地域住民の防災意識を向上させる
	11	鶴崎地域の学力向上、地域間交流	・鶴崎地域の学校間で生徒の交流を行い、学力向上を図る ・地域の発展のために地域交流を盛んにすることで、子どもたちに鶴崎の魅力を知ってもらう
	12	空き家、空き地を活かした地域コミュニティ活動の推進	・生活の利便性を活かして、空き家や空き地に集合住宅を建設するなど地域コミュニティの場を整備する
	13	高田校区に多目的グラウンドの整備	・スポーツの振興や新たなコミュニティの創出を促すため河川敷以外の場所に新たなグラウンドを整備する(河川敷グラウンドは大雨等で浸水するおそれがある)
	14	将来住みたくなる街づくり	・道路や公共交通の機能を充実させ、生活の利便性を向上させる ・子どもや高齢者福祉を充実する ・地域の歴史を活かした街づくりを行う ・企業の誘致や地域の大企業との連携を行う ・鶴崎駅前を活性化させる ・地域の少子高齢化への対策を行う

◆「ふれあい市長室～あなたの地域のまちづくりビジョン～」

今年度は、地域でまちづくりビジョンに関連した活動を行う団体を対象に、活動報告と意見交換を行いました。

開催日：令和3年12月17日(金)

対象団体：鶴崎おどり保存会

鶴崎地域の代表的な伝統芸能である鶴崎踊の普及・PRや後継者育成の取組を行っています。